



かけはし

第 5 号

平成29年9月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

いよいよ秋も深まってきました

校長 川崎直人

楽しい夏休みが終わり、学校にも活気が戻ってきました。22日の始業式では、「2学期も目標や希望をもっていろいろなことにチャレンジしていこう」という話をしました。

さて、日本では、古来から旧暦9月を長月(ながつき)と呼び、現在では新暦9月の別名としても用いられています。

長月の由来は、「夜長月」(よながつき)の略であるとする説が最も有力ですが、他に「稻刈月」(いねかりづき)が「ねかづき」となり「ながつき」となったという説や「稻熟月」(いねあがりづき)が略されたものという説もあります。いずれにしても我が国の主食である稲の成長と大いに関係があります。

こう考えてみると、私たちの毎日の生活が、四季の移り変わりに伴って営まれていることがわかり、自然の偉大さに毎日感謝したり、畏敬の念をもって過ごしたりした古人(いにしえびと)の思いが伝わってくるようです。これからも四季のある我が国のよさを子どもたちに十分に味わわせながら、教育活動を展開してきます。

さて、9月にもたくさんの行事が予定されています。地域では智恵文神社祭や敬老会、学校では収穫祭やマラソン大会にむけて取組などがあります。特に収穫祭は、今までお世話になった地域の方をお招きして感謝の気持ちを伝える大切な行事です。子どもたちが学校の畑で収穫した野菜を使ってうでによりをかけて作るメニューは今年は何でしょうか？楽しみです。夏休みも毎日当番を決めて学校に来て、野菜のお世話をした子どもたちの思いをうけて豊作になることを心より願っています。

まだまだ今年は残暑が厳しいようですが、それもつかの間、いよいよ秋が深まってきます。野山も色づきを増し、「灯火親しむ秋」とか「スポーツの秋」とも言われるように、勉強に運動に絶好の季節となってきます。本校の学校教育目標である「21世紀を豊かな心とかしこさで生き抜く智小っ子」の実現に向けて、今学期も全職員一丸となって努力していきますので、保護者や地域の皆様の忌憚のないご意見を学校までお寄せくださいますようお願い致します。

